

## 問 地域防災計画に女性の視点を!

川上博司 議員

### 答 計画の中に十分反映させたい

防災対策の見直しについて  
川上 東日本大震災から1年が過ぎ、震災の教訓を踏まえ、既存の防災対策を見直す動きが活発化している。今回の大震災では、「着替える場所がない」「授乳スペースがない」などの声があり、女性用衛生品や化粧品、乳児のおむつなど支援物資の不足も目立ち、災害時における



パンフレット「大分県女性の視点からの防災対策のススメ」

女性たちが、災害時の担い手として、その力が発揮できるように仕組む必要がある。防災会議への女性委員の積極的登用、防災担当と男女共同参画担当との連携強化、女性の意見を地域防災計画に反映させる取り組みなど、女性の意見を普段からしっかりと反映できるようにすべきではないか。

総務部長 平成24年度で策定する地域防災計画に、女性の視点を生かした防災対策を盛り込んでいきたい。

川上 このことについては、国が取り組むべき課題であるが、自治体ができることは自治体で取り組んでいくべく、自転車の利用環境整備やルール化といった取り組みを検討・推進すべきだ。ヒルクライムチャレンジャーズを今後開催していく高梁市においては、自転車政策というものをどのように位置づけて考えて

市長 自転車に対する取り組みについては、昨年からヒルクライムチャレンジャーズを開催したこともあり、重要であると考えている。毎月20日をバイクビズとして設定して市民、事業者にアピールしているところである。自転車は健康面とあわせて環境面でも効果があり、二酸化炭素の削減につながる。今後、自転車によるまちづくりについて検討していきたい。

## 問 介護保険に国庫負担の増額と、市独自の繰り入れを

三上孝子 議員

### 答 国に対し強い姿勢で要望したい

第5期介護保険制度について  
三上 4月から改定される内容で一番問題なのは、65歳以上(第1号被保険者)が支払う保険料が年額第1段階で2万2100円だった人は7100円引き上げの2万9200円、9段階、10段階は10万円を超える大幅な引き上げ(平均32.4%)になることです。この要因は?

極めて高く、昨年のアンケート結果でも378名の施設待機者がある。その解消のため、今回、特別養護老人ホーム、小規模特養、また地域密着型施設を設置する考え方で、計算をした結果、給付費が11.9%増となった。

三上 施設への入所希望が多いから保険料が高くなるというが、介護保険制度は40歳から保険料を払い、65歳以上で認定を

受ければ、1割の利用料で希望するサービスが受けることができます。65歳以上の大多数が年金生活者です。これでは利用したくても利用できない事態に追いやられてしまいます。「生きていけません。年寄りはどうなってもいいのですか」(80歳代女性)、「年金が入った時、やっと保険料を払っている。介護を受けなければならぬ保険料を返してくれるんですか」(70歳代女性)、「税金の使い方を考

えてほしい」(60歳代男性)この声にどう応えるんですか。

市民生活部長 特に低所得者に急激な負担にならないよう配慮した。

三上 国に対し国庫負担の増額、市独自の繰り入れを行うことを求めます。

市民生活部長 最終的には国が責任を持つべき施策であり、強い姿勢で要望したい。市独自の対策は厳しい状況である。

三上 「ゆ・ら・らの利用



券より介護保険料の引き下げを」が市民の率直な声であり、この声に真摯に応えるべきです。

# 3月定例議会・一般質問の概要

## 市政のここが聞きたい!

### 一般質問

3月定例議会では、3月8日・9日・12日の3日間にわたり、12名の議員がそれぞれの視点・観点から一般質問を行いました。掲載している各議員の記事は、質問者自らが作成したものです。

発言順	議員名	質問事項
1	三上孝子	●市民生活と地域・自治体を守るために ●第5期介護保険制度について ●生活保護行政について ●環境行政について
2	川上博司	●女性の視点からの防災対策について ●自転車走行環境の整備について ●スポーツを通じた新たな観光交流の取り組みについて
3	大森一生	●高梁市民はこれから何で食って行けばよいのですか (高梁市の持続可能性について)
4	田中広二	●布寄小学校の閉校について ●旭川荘との関係について ●吉備国際大学の関係について ●地域おこし協力隊について ●駅前一方通行の現状を問う ●朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について問う
5	妹尾直言	●地域医療について ●J R 備中高梁駅整備について ●朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について ●外部からの監査委員について
6	小林重樹	●定住施策について
7	内田大治	●高梁市地域公共交通総合連携計画について ●福祉事業について ●ポリオワクチン接種について
8	宮田好夫	●地域主権改革三法の成立による本市の対応について ●災害復旧について
9	森田伸一	●定住対策について ●交通弱者対策について
10	宮田公人	●わかりやすい予算、決算付属資料の作成について ●幼稚園と保育園の一元化に向けた取り組みについて ●幼稚園、中学校施設の適正配置について ●高梁市地域防災計画におけるアマチュア無線の活用について ●消防無線のデジタル化と、災害時の消防団活動におけるアマチュア無線の活用について
11	難波英夫	●心豊かな人をはぐくむ教育行政について ●地域と一体となった学園文化都市づくりについて ●朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について ●農業振興について
12	倉野嗣雄	●消防団について ●認知症対策について ●行財政改革について